

千葉国際芸術祭 2025 「令和7年度実施計画書」が決定しました ～千葉国際芸術祭 2025 の開催概要等を公開～

千葉市では、4月21日に開催された千葉国際芸術祭実行委員会総会において、千葉国際芸術祭 2025 の開催概要等を示した「令和7年度実施計画書」を決定しましたので、お知らせします。

1 千葉国際芸術祭 2025 概要

「千葉国際芸術祭 2025」は、地域の可能性をひらく市民参加型アートプロジェクトの祭典です。まちなかの思わぬ場所がひらかれ、手をあげた人から活動が始まり、アーティストも生活者も来訪者も、みんなでつくる参加型の芸術祭です。

3年に1回開催される「トリエンナーレ方式」の芸術祭として開催準備を進めており、令和5年度からプレ企画として、令和7年度の各アーツフィールドでの展開を見据えたアートプロジェクトを実験として多数開催しました。

総合ディレクターに中村政人氏を迎え、「ちから、ひらく。」をコンセプトに令和7年度は国内外32組のアーティストによる市民参加型アートプロジェクトを実施します。

本芸術祭が地域における持続的な文化創造の礎となり、千葉開府900年事業の旗艦事業として、千葉市の「人づくり」「まちづくり」「未来づくり」に寄与し、「個性豊かな新しい千葉文化の創造」の起点となることを目指します。

2 令和7年度実施計画概要

(1) 会期

市民参加型アートプロジェクトを主軸とする「千葉国際芸術祭 2025」では、アートプロジェクトごとに「ともにつくる→成果を発表する→活動振り返る」というプロセスが展開されるため、会期が長期に渡ります。また、芸術祭自体も期間を3つのプロセスに分けて実施します。いずれの期間もトークイベントやワークショップなどに参加いただけます。

①まちなかリサーチ・制作期間	4月～9月中旬
②集中展示・発表期間	9月19日（金）～11月24日（月・休）
③振り返り期間	12月

(2) エリア・アーツフィールド

市内各地にアーツフィールド（文化創造拠点）を設け、参加型アートプロジェクトを実施します。特に拠点が集中する地域を「エリア」と名付け、主な開催地として設定します。

○主なエリア

千葉駅周辺エリア、市場町・亥鼻エリア、千葉市役所周辺エリア、西千葉エリア、千葉公園周辺エリア、海浜エリア

○主なアーツフィールド

千葉市役所、国道357号上部空間、そごう千葉店、アーツうなぎ、千葉都市モノレール県庁前駅、花見川、花見川団地、西千葉工作室、旧高洲第二中学校、千葉市動物公園、千葉県こども病院ほか

(3) 参加アーティスト

公募プロジェクト「ソーシャルダイブ」により選考したアーティストに加え、**招聘**アーティストも決定し、国内外全32組の参加が決定しました。それぞれのアーティストが千葉市内各地でさまざまな人や市民の皆様とともにアート活動を展開します。

(4) 公開方法

令和7年度実施計画は市ホームページにて公開しています。

【URL】<https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/bunka/chibakokusaigeizyutusai.html>



※詳細なプログラム等について、6月に記者発表会を開催し、お知らせする予定です。日時等は改めてご案内します。

＜参考＞千葉国際芸術祭実行委員会について

令和5年2月に策定した千葉市芸術祭基本構想内では、「新たな文化の創造と魅力の発信」「地域への関心や関わりの醸成」「多様な主体の尊重と繋がりの創出」を目的として開催することとしています。本市のこれまでのまちとしての歩みや特色等を踏まえ、行政だけではなく、市民や企業、団体など千葉市に関わるさまざまな主体との関わりあいのなかで、本市ならではの新たな文化の創造と魅力を生み出し、それを広く発信していく芸術祭としていきたいと考えています。

本市はもとより、産官学の各分野が協働し、千葉市に関わる人々の英知を結集し、総力をあげて取り組んでいくために、令和5年3月30日に千葉国際芸術祭実行委員会を設立しました。

○総会開催状況

令和5年	3月30日	設立総会および第1回総会
	7月21日	第2回総会 総合ディレクターとして中村政人氏を選任
	10月26日	第3回総会
令和6年	1月30日	第4回総会 芸術祭の名称を「千葉国際芸術祭」とした
	6月25日	第5回総会
	10月 3日	第6回総会 令和6年度実施計画を公開
令和7年	4月21日	第7回総会 令和7年度実施計画を決定・公開